

令和5年度の資料整理・調査研究

1. 考古資料

(1)企画展に係る資料調査

令和5年度夏季企画展「#丹後のいいね！」の出品資料をセレクトするワークショップ「わたしのいいね／あなたのいいね！」に活用することができると考えられる考古資料について調査を行い、ワークショップ参加者にとって親しみやすいと考えられる資料をピックアップした。企画展では、ワークショップ参加者と学芸員が選んだお気に入りの資料、木子の化石(ゼノキプリス)1点、湯舟坂2号墳出土須恵器2点、俵野廃寺出土瓦1点を展示了。

(2)寄託等受け入れ資料

考古資料は、今回は新たな受け入れ資料はなかった。

(3)その他

京都府立大学の地域貢献型特別研究(ACTR)「湯舟坂2号墳出土遺物の再検討」に協力した。

2. 歴史資料

(1)企画展に係る資料整理

令和5年度夏季企画展「#丹後のいいね！」に先行して実施した関連ワークショップ「わたしのいいね／あなたのいいね！」に伴う再整理を行った。企画展では、ワークショップ参加者と学芸員が選んだお気に入りの資料(丹後型狛犬、大江山酒呑童子絵巻、天橋立図屏風、阿弥陀三尊来迎図、本庄宗秀筆 蝋子像、谷文晁筆 牡丹に大湖石図、伊藤若冲筆 雨龍図、堀江友声筆 龍虎図、岸連山筆 溪流虎図、岸駒筆 柳蔭涼馬図、岸連山筆 嵐山春景等12点)を出品した。

(2)古文書の目録作成

当館に収蔵されている未整理の古文書の調査の一環として、目録の作成や写真撮影を行った。対象とした文書群は以下のとおりである。

・由良村左近家文書

加佐郡由良村の左近家に伝わった古文書群で、

天保5年(1834)から大正2年(1913)の古文書111点からなる。江戸時代の大福帳などの経営帳簿類のほか、安政3年(1856)の「御用日記控帳」には幕末の異国船対策のための御台場建築の記事等が見られる。明治期のものは区長職の引き継ぎ文書等が残る。

・惣村三宅家資料

明和6年(1769)から昭和25年(1950)に至る資料139点。近世から近代にかけての、宮津地方における三宅家の土地集積の様子をうかがうことができる資料が多く、田地の譲渡証文や141通の地券証により、その集積具合を把握することができる。また、幕末の「御用手控帳」や宮津藩との拝借金に関する資料、宮津藩主本庄宗秀筆の書軸等も含まれている。昭和に入ると醤油製造業に従事しており、経営帳簿等も保存されている。

・浅茂川村井安田家文書

元禄3年(1690)から昭和3年(1928)の文書群167点。江戸時代のものは多くは当時の当主丈助宛の質地証文が中心で、明治に入ると縮緬の取引に関わる各地の商況を尋ねる書簡等が残される。

本文書群は、丹後地域では珍しい17世紀の文書を含むだけでなく、近代における縮緬の流通の有り様を伝える重要な資料群である。

・浅茂川村油善田茂井家文書

慶応4年(1868)から昭和29年(1954)に至る資料47点。概ね明治以降の近代文書が中心で、「油善」油屋善左衛門を屋号とした織物工場に関する記録が残る。地域産業を支えた大正期から昭和2年(1927)の丹後震災、第二次大戦を経ての経営の様子をうかがうことができる。

・坪倉慧二郎氏収集文書

天明5年(1785)から昭和元年(1926)に至る資料417点。旧弥栄町船木に在住の郷土史家であった坪倉氏が地元の船木村を中心に収集した文書群。江戸時代は年貢の帳簿類や宗旨送り状、借用証文類等がある。文化7年(1810)の田地作付けにかかる書付は「かふ」単位での管理が行われていたとみられ興味深い。明治期のものとしては、明治8年(1875)の「公学設立願」により船木村学校の設立が進められようとしていたことが分か

る。

(3)古文書・歴史資料調査

京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) の一環として行われた木船衛門家文書(舞鶴市)の調査に協力した。田辺藩大庄屋を務めた木船家の近世後期から近代にかけての9,022点の文書群で、調査成果の一部は京都府立大学文化遺産叢書第30集『舞鶴木船衛門家文書調査報告 京都府北部MALUI連携事業』(京都府立大学文学部歴史学科、2024年3月)に収録されており、下記URLからも閲覧できる。

<https://kpu-his.jp/report/bunkaisan#30>

館内では2023年12月から2024年3月にかけて当館職員(西村正芳氏)による古文書整理業務を行い、由良村左近家文書、吉澤村文書、惣村三宅家資料、浅茂川村井丈安田家文書、浅茂川村油善田茂井家文書、坪倉慧二郎氏収集文書、大津屋山本家文書の目録作成や点検等を行った。

また、古文書ボランティア3名による古文書整理も行われた。作業は毎週水曜に行い、当館所蔵資料や一時預かり資料のクリーニング、目録作成に取り組んでいる。

この他、文化庁、他の博物館、研究機関や一般希望者による調査を受け入れた。

3. 民俗資料

(1)企画展に係る資料整理

令和5年度夏季企画展「#丹後のいいね！」に先行して実施した関連ワークショップ「わたしのいいね／あなたのいいね！」に伴う再整理を行った。企画展では、ワークショップ参加者と学芸員が選んだお気に入りの民俗資料(夜着、番傘、堺重(重箱)、アルミ弁当箱、ベビーアイロン、陶製給水器)を出品した。

(2)連携展に係る資料調査

府立京都学・歴彩館を会場として開催された令和5年度京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会「府内まるごと博物館大集合！－新時代の京都展－」に出品する資料について歴彩館の担当学芸員等と協議を行い、館蔵資料の再整理を行った上で丹後ちりめん生地を出品することになった。

(3)寄附受入にかかる資料整理

令和5年度に寄附を受け入れた民俗資料11件75点について、クリーニング作業をはじめ、写真撮影、計測作業、目録作成を行い、適宜保管庫等へ収蔵した。

(4)館蔵民俗資料のデジタル化に伴う整理

館蔵民俗資料については、展示出品資料や文化財指定品等を中心にデジタル写真撮影を継続して行っているが、令和5年度にメディア・研究者・個人等から画像利用申請のあった福知山市千原等の養蚕用具5点、宮津市小田宿野の腰蓑(2点)、宮津市漁師町のドウジ(2点)、与謝野町石川の番傘(1点)について撮影を行い、デジタル画像データを提供した。当該画像データについては、適宜分類整理を行った上で管理している。

(5)資料館本館改修工事に伴う館蔵民俗資料移動のための再整理

本館収蔵庫等敷地内に保管している館蔵民俗資料(約7千点)を改修工事に伴って別の収蔵施設へ移動させる必要があるため、資料の状態確認と古くなったラベルの張替えを適宜行った。移動による資料の破損等を防ぐため、資料の状態を考慮した再整理(資料の移動に伴う再整理)を実施した。

4. 資料の受け入れ

新たに受け入れた資料は以下のとおりである。

【寄附】

- ・552 和尚膳 1式
- ・553 石臼(台付き) 1組
- ・554 五月幟(神武天皇図等) 1組 3点
- ・555 マツブタ(バラ寿司製作用) 4点
- ・556 小脇の生活用具(天秤式はかり・茶碗・錢箱・蓑等) 8点
- ・557 鯉のぼり・甕(柿渋染め用)・藩札・『天橋立切戸の文珠』 13点
- ・558 縮緬着物・帯(黒縮緬地菊桐に流水模様留袖等) 20点
- ・559 小桑の生活用具(七五三飾り・牛乳瓶蓋開けピック・トラバサミ等) 10点
- ・560 『丹後大震火災写真画報』 1冊、『天の橋立写真帖』 1冊

- ・561 里波見村谷川家文書 一括、戦争関係資料 一括
- ・562 丹後国加佐郡由良村米屋新四郎家文書 78件84点
- ・563 駒倉の生活用具(縮緬着物・吸物椀・大皿等) 19点
- ・564 藤織り製品 1点
- ・565 丹後国与謝郡惣村三宅家文書 一括
- ・566 岩滝の千本搗き用臼と杵 8点
- ・567 浅茂川油善田茂井家文書 47点



557 藩札



553 石臼



558 帯



558 黒縮緬地菊桐に流水模様留袖



556 天秤はかり

【寄託】

- ・288 浦嶋社・宇良神社棟札類 10点
- ・289 金毘羅神社奉納船絵馬 5面
- ・290 須津彦神社神刀 3振
- ・291 高梨区有文書 一括
- ・292 松川龍椿筆「蘭亭曲水図屏風」六曲一双
- ・293 本庄宗秀筆「八聲軒」 1幅
- ・294 縁城寺の文化財（「十王図」、「俱生神図」、足利尊氏筆「地蔵菩薩図」） 4幅
- ・295 由良村左近家文書 一括

6. 出前講座一覧

学校

月日	学校名	内 容	人数
5/9	府中小学校	府中地区の歴史	15
6/7	洛北附属中学校	勾玉作り	82
6/9	伊根小学校	伊根の歴史を絵図からさぐる	15
6/12	清新高等学校	火起こし講義・体験活動	6
6/13	府中小学校	府中小学校区の産業の歴史	16
6/14	府中小学校	成相寺のフィールドワーク	15
6/26	清新高等学校	火起こし講義・体験活動	11
6/27	府中小学校	府中フィールドワーク	15
7/20	大江高校	由良川と丹後の歴史	44
9/7	市場小学校	市場小学校区の歴史	26
9/13	養老小学校	養老小学校区の産業の歴史	8
9/21	岩滝小学校	岩滝小学校、弓木城跡	43
10/13	中筋小学校	火起こし体験	26
10/17	本庄小学校	勾玉作り	11
10/28	明倫小学校	勾玉作り	14
合 計			347

一般

月日	団体名	内 容	人数
6/10	SKY クラブ	北前船の寄港地であった神崎を見て歩き	55
8/1	与謝地方小学校教育研究会	天橋立を歩く～歴史的景観の変遷と現在の取組	13
8/18	京都府神社庁丹後六支部連合会	丹後地域の祭礼に関する講演	50
8/19	京都：Re - Search 実行委員会	Kaico 町を縫う	22
合 計			140

7. 見学等対応一覧

月日	市町村名	団 体 名	人数
4/22	京都市	立命館大学丹後村おこし活動チーム	18
4/25	神奈川県	百合ヶ丘白寿会（老人会）	15
4/30	京都市	立命館大学丹後村おこし活動チーム	20
6/7	与謝野町	加悦老人クラブ	93
6/11	兵庫県	古代史紀行	20
6/14	京丹後市	京丹後高齢者大学丹後学園・弥栄学園合同在史講座	19
6/15	島根県	八雲立つ風土記丘友の会	15
6/20	京都府	京都府文化財保護指導委員	21
6/29	京都府	両丹ミュージアム連絡協議会	17
6/30	京都市	府立大 ACT	21
8/6	京都府	文化財 1 DAY バスツアー	49
8/9	京都市	法然院森の子クラブ	19
8/17	宮津市	ひだまり	15
8/18	京都府	京都府神社庁丹後六支部連合会総会	50
9/28	京都府	名鉄観光京都府老人クラブ連合会	83
10/19	京都府	与謝地方小学校校長会研修会	14
10/26	大阪府	大阪大学考古学研究室	28
11/7	木津川市	生きがい大学（木津）	73
11/8	宮津市	宮津市小学校校長会	10
11/9	奈良県	川西古代学友の会	25
11/10	木津川市	生きがい大学（加茂）	66
11/11	京丹後市	丹後健康友の会	20
11/21	綾部市	綾部の文化財を守る会	16
11/22	木津川市	生きがい大学（山城）	38
2/22	京都市	京都ホテル観光ブライダル専門学校	19
2/29	宮津市	宮津市老人クラブ	21
3/29	舞鶴市	放課後等デイサービスにこにこ	21
合 計			826

令和6年度の資料整理・調査

1. 考古資料

(1) 資料館本館改修工事に伴う館蔵考古資料移動のための再整理

本館収蔵庫等に保管している館蔵考古資料(約2,000箱)を改修工事に伴って別の収蔵施設へ移動させる必要があるため、資料の状態確認及びラベルの貼付を行った。また、移動による資料の破損等を防ぐため、資料の状態を考慮した簡易梱包作業を行った。

(2) 寄託等受け入れ資料

考古資料については新たな受け入れ資料はなかった。

(3) その他

京都府立大学のACTR「湯舟坂2号墳出土遺物の再検討」と独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所の山本崇氏が代表で実施している科学研究費補助金基盤研究C「丹波丹後地域出土文字資料の悉皆再釈読による古代山陰道の歴史的地域的特質の解明」の調査に協力した。

京丹後市から寄託中の重要文化財湯舟坂2号墳出土品について、文化庁、京丹後市と共に員数確認を行った。

2. 歴史資料

(1) 収蔵品の調査

前年度に引き続き、4～6月に古文書ボランティア3名による溝谷村梅田家文書の整理を行った。作業は毎週水曜に行い、目録作成に取り組んだ。

(2) 外部機関による調査への協力

太田家資料研究会による太田典礼関係資料の調査に協力した。

(3) 資料館本館改修工事に伴う館蔵歴史資料移動のための再整理

リニューアル工事に伴う休館のため他館へ寄託替えする古文書・歴史資料について、輸送にかかる状態調査を行い、エキヒュームSによる燻蒸を実施した。また、別の収蔵施設に移転予定の資料

について状態を確認し、梱包輸送した。詳細は『両丹地方史』第70号を参照。

3. 民俗資料

(1) 連携展に係る資料調査

府立京都学・歴彩館を会場として開催された令和6年度京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会「府内まるごと博物館大集合！スポットライトー今、ミュージアムが光を当てたい逸品展ー」に出品する資料について歴彩館の担当学芸員等と協議を行い、館蔵資料の再整理を行った上で京都府蚕桑図絵、瓦製瓦し尾模型(平安神宮本殿のしご模型)、瓦製鐘馗像、瓦当模型(大仏殿巴瓦模型)細井和喜蔵『女工哀史』を出品することになった。

(3) 寄附受入にかかる資料整理

令和6年度に寄附を受け入れた民俗資料2件135点について、クリーニング作業をはじめ、写真撮影、計測作業、目録作成を行い、適宜保管庫等へ収蔵した。

(4) 館蔵民俗資料のデジタル化に伴う整理

館蔵民俗資料については、展示出品資料や文化財指定品等を中心にデジタル写真撮影を継続して行っている。令和5年度はメディア・研究者・個人等から画像利用申請のあった資料について撮影を行い、デジタル画像データを提供した。当該画像データについては、適宜分類整理を行った上で管理している。

(5) 資料館本館改修工事に伴う館蔵民俗資料移動のための再整理

民俗資料(約7千点)のリニューアル工事に伴う移動のため、資料の状態確認と古くなったラベルの張替えを行った。移動による資料の破損等を防ぐための作業を実施した。

4. 資料の受け入れ

令和6年度に新たに受け入れた資料は以下のとおりである。

【寄附】

- ・ 568 宮津市木子の生活風景写真、日誌 14点
- ・ 569 絵葉書(天橋立観光関係等) 14組119枚
- ・ 570 浅茂川村井丈安田家文書 167点



568 宮津市木子の風景（巖山頂より遠望）
昭和28年3月9日撮影



569 絵葉書「天橋八景」

5. 資料館本館改修工事に伴う館蔵資料の保管

リニューアル工事に伴い、重要文化財を中心には103件が京都国立博物館、その他美術工芸品61件が龍谷大学龍谷ミュージアムに寄託替えとなったため、燻蒸を行った上で移動した。

また、宮津市立歴史資料館、与謝野町立江山文庫、舞鶴市郷土資料館、京都文化博物館、京都学・歴彩館、山城郷土資料館の各機関にもリニューアル工事期間中の資料の保管についてご協力いただくことになった。

その他の資料については、仮収蔵施設（京丹後市丹後町間人）で保管することになった。

6. 出前講座一覧

学校

月日	学 校 名	内 容	人 数
6/12	洛北高校附属中学校	勾玉作り	84
6/18	惇明小学校	勾玉作り	95
7/4	宇川小学校	勾玉作り	11
7/27	大宮南小学校	火起こし体験	50
10/11	吉津小学校	総合学習「吉津地区・天橋立の歴史について」	14
10/17	由良川小学校	火起こし体験	4
10/18	中筋小学校	火起こし体験	22
11/16	明倫小学校	勾玉作り	13
合 計			293

一般

月日	団 体 名	内 容	人 数
5/15	グンゼ博物苑	養蚕農家の暮らしと願い～綾部・京丹波・福知山の蚕業遺産から	44
7/25	知遊館	勾玉作り	20
8/25	京都府ミュージアム出張体験教室	「糸車」体感！	41
9/18	京都社会人大学校北近畿校	歴史講座	28
9/29	宮津観光アソブマチなか案内人の会	地域の食文化「丹後ばら寿司」講演	57
10/26	舞鶴市子ども講座	火起こし体験	60
合 計			250

7. 見学等対応一覧

月日	市町村名	団 体 名	人 数
5/28	高槻市	高槻市人権まちづくり協会	41
6/2	京都市	京都産業大学	20
6/4	加悦町	加悦老人クラブ連合会	90
6/20	伊根町	伊根町社会福祉協議会	12
6/21	京丹後市	下岡老人クラブ天寿会	24
6/21	京都市	京都府総合教育センター	21
6/27	伊根町	伊根町文化財保護審議会	10
7/16	宮津市	京都府水産事務所	12
8/17	京都府	京都:Re-Search 実行委員会（写真ワークショップ パシヤパシヤ丹後）	33
8/18	京都府	京都:Re-Search 実行委員会（写真ワークショップ パシヤパシヤ丹後）	33
合 計			296

令和5年度丹後学び舎セミナー等活動報告

1. 古文書講習会

資料館友の会と共に実施した。9月16日から12月16日までの計4回、午前は実践編、午後は入門編として1日に2講座、合計8回行った。第2回からは講師を西村正芳氏(京都府立大学共同研究員)にお願いした。参加者は延べ137人であった。

入門編では『宮津市史』資料編第3巻所収の「今林家文書」より、「宮津町方御法令条目 写」をテキストとして扱った。

実践編では、「本庄家譜」第35巻宗武第一(舞鶴市糸井文庫36-37)を解読した。

2. 子ども体験教室

夏休み期間中、資料館友の会と共に「勾玉を作ろう」、「錢を作ろう」、「銅鐸を作ろう」、「鏡を作ろう」を各日2回ずつ、「日本画を描こう」を1回実施した。

勾玉作りでは、古墳から出土した勾玉を間近に見てイメージを膨らませながら、滑石を紙やすりで削り、磨いて思い思いの形の勾玉を完成させた。

錢作り・銅鐸作り・鏡作りでは、耐熱シリコン製の鋳型に溶かした合金を流し込んで鋳造し、バリ取り、研磨して、和同開珎・銅鐸・内行花紋鏡のレプリカを製作した。

「日本画を描こう」では株式会社修美の協力を得て、日本画に使用される岩絵具について学んだ後、若冲の作品からキャンバスに写された動物を好きな色で着色した。



「日本画を描こう」のひとこま

参加者は「勾玉を作ろう」が142人、「錢を作ろう」が117人、「銅鐸を作ろう」が25人、「鏡を作ろう」が37人、「日本画を描こう」が49人であった。

3. 文化財講座

令和5年度は展覧会の関連事業として文化財講座を3回実施した。

第1回は企画展「ミュージアムヒストリーー丹後郷土資料館のあゆみー」に関連して「丹後郷土資料館と丹後王国論」と題し、杉原和雄氏(元当館技師)に当館の54年のあゆみを振り返り丹後王国論について講演していただいた。第2回では巡回展「発掘された京都の歴史2023」のみどころを肥後弘幸氏(公益財団法人京都府埋蔵文化財調査研究センター職員)に紹介していただいた。第3回は「船乗りたちの「情報戦」～新府指定文化財・加藤家文書の世界～」と題して、巡回展「京都府の新指定文化財」の展示品のうち加藤家文書から窺える北前船の船乗りたちの活動について吉野健一氏(元当館技師)に熱演いただいた。

4. 展覧会と連動したワークショップ

・企画展「#丹後のいいね！」ワークショップ

当館が開館以来約半世紀にわたって収蔵した地域の貴重な資料(“たからもの”)を間近で観察し、気に入った作品について参加者の観点から紹介文を書いていただいた。6月17日(土)、24日(土)の2回実施し、参加者は延べ15人であった。紹介文は7月から開催の企画展「#丹後のいいね！」展で学芸員の解説文とともに掲示した。



「#丹後のいいね！」ワークショップのひとこま

令和6年度丹後学び舎セミナー等活動報告

1. 古文書講習会

資料館友の会と共に実施した。7月27日から11月9日までの計4回、毎回土曜日に京都府宮津総合庁舎2階講堂で実施した。午前は実践編、午後は入門編として1日に2講座、合計8回行った。講師は昨年度に引き続き西村正芳氏(京都府立大学共同研究員)にお願いした。参加者は延べ147人。

入門編では豊岡県の時代の文書をテキストとして、くずし字になれるところからはじめた。

実践編では幕末の村方文書である与謝郡算所村の西原家文書をテキストとして、幕末の御用留を解読した。

2. 子ども体験教室

「鏡を作ろう」(8/2)、「勾玉を作ろう」(8/4)、「古代の腕輪を作ろう」(8/9)、「ミニ銅鐸を作ろう」(8/10)を各日2回ずつ、資料館友の会と共に実施した。

勾玉作りでは、古墳から出土した勾玉を間近に見てイメージを膨らませながら、滑石を紙やすりで削り、磨いて思い思いの形の勾玉を完成させ、最後に好きな色で着色した。

鏡作り、銅鐸作りでは、耐熱シリコン製の鋳型に溶かした合金を流し込んで鋳造し、バリ取り、研磨して、銅鐸・内行花文鏡のレプリカを製作した。



「古代の腕輪を作ろう」のひとこま

古代の腕輪作りは今回が初の企画で、与謝野町大風呂南墳墓出土のガラス釧について学んだ後、クリアソープを溶かして好きな色に着色し、型に流し込んでガラス釧のレプリカを製作した。

参加者は「勾玉を作ろう」が26人、「銅鐸を作ろう」が10人、「鏡を作ろう」が10人、「古代の腕輪を作ろう」が16人であった。

3. 展示関連のワークショップ

国際博物館の日である5月18日(土)に伊根町(寺領区)の仏像の修理後初公開と国際博物館の日を記念し、小学生~大人までを対象としてワークショップ「初めての仏像体験」を開催した。京都国立博物館の協力を得て、精巧な玉眼模型や仏像の材料となる木のサンプルを実際に触って体験した。参加者は70人。

4. 文化財講座

休館中のアウトリーチ活動として文化財講座を2回実施した(6/22、2/22)。

第1回は丹後府中の歴史を探る!というテーマで丹後国分寺跡と安国寺遺跡の近年の発掘調査成果を紹介した。第2回では「丹後の祭り・行事」と題して、京都府が実施した祭り・行事調査事業から府内や丹後各地の祭りを紹介し、地域における祭りの意義や価値について考えた。参加者は、6/22が46人、2/22が21人。



「初めての仏像体験」のひとこま

令和5年度のあゆみ

- 4.1 常設展「海国・丹後を巡る—丹後の歴史と文化—」(～3/31)
企画展「サンパチー豪雪と山村の暮らしをめぐる60年—」(～4/9)
- 5.20 企画展「ミュージアムヒストリー—丹後郷土資料館のあゆみ—」(～6/25)
- 5.27 ギャラリートーク
ミュージアムヒストリー—丹後郷土資料館のあゆみ—
- 5.27 文化財講座①
「丹後郷土資料館と丹後王国論」
講師:公益財団法人向日市埋蔵文化財センター
理事長 杉原和雄氏
- 6.17 「#丹後のいいね！」関連ワークショップ
「わたしのいいね！あなたのいいね！」全2回(6/17、6/24)
- 7.15 企画展「#丹後のいいね！」(～9/18)
- 7.15 「京都府ミュージアムフォーラム合同展覧会
—府内まるごと博物館大集合！—新時代の
京都展—New World—」(～9/10)
- 7.15 友の会のつどい
「資料館民俗部門の30年を振り返って」
講師:元丹後郷土資料館技師 井之本泰氏
- 8.4 夏休みこども体験教室
勾玉(8/4)、銭(8/5)、銅鐸(8/11)、鏡(8/12)、
日本画(8/19)協力:株式会社修美
- 9.16 古文書講習会(全4回)
(9/16、10/21、11/18、12/16)〔午前:実
践編、午後:入門編〕
講師:西村正芳氏(第2回から)
- 10.7 巡回展「発掘された京都の歴史2023」
(～11/12)
- 10.7 文化財講座②
「発掘された京都の歴史2023のみどころ」
講師:公益財団法人京都府埋蔵文化財調査
研究センター 肥後弘幸氏
- 10.28 丹後の食文化体験プロジェクト
「みんなでつくる郷土料理 丹後ばら寿司」
- 11.3 あめつちの祭り(～11.4)
・熱気球体験&旧永島家住宅での朝食付きツア(有料)
・Kaico鑑賞ツア、クロージングイベント
東京藝術大学美術学部先端藝術表現科准教授 西尾美也氏 他
・ピアノ&トークセッション
環境音楽家小松正史氏×宮津市地域おこし協力隊
・海のトークセッション
- 元水産生物研究員 本藤靖氏×青江学芸員
・キッチンカー、テント22店舗
・ステージライブ
ダンス、フォーク、DJ、ウクレレ、民族音楽など
・丹後ばら寿司ラボラトリー「心安らぐ音色
×新スタイルばら寿司×心休まるお茶会」
新スタイルばら寿司:学校法人大和学園(京
都市)、フルート:奥野英恵氏 他
・ワークショップ
勾玉、和同開珎、石鹼づくり、ベンガラ染め、
しめ縄、竹のおもちゃ作り
・天橋立北側地域の回遊性を高めるグリーン
スローモビリティ実証実験
- 12.2 巡回展「京都府の新指定文化財」(～2/25)
- 12.9 文化財講座③
「船乗りたちの「情報戦」～新府指定文化財・
加藤家文書の世界～」
講師:文化庁文化財第一課文化財調査官 吉
野健一氏
- 2.18 鮪タウンミーティング
「日本海・若狭湾沿岸の郷土料理の魅力—さば
食文化ラボラトリー5つの謎—」
場所:清輝樓(宮津市)
・講演、報告
京都府立丹後郷土資料館館長 岸岡貴英
京都府水産振興事業団専務理事 井谷匡志氏
元京都大学東南アジア研究所特任教授 中村
均司氏
福井県小浜市文化観光課主査 川股寛享氏
・パネルディスカッション
コーディネーター:福知山公立大学地域経営
学部教授 小山元孝氏
パネリスト:金沢大学人間社会学域地域創造
学類准教授 林紀代美氏、京都食いく先生
浪江正人氏、丹後のくろねこ代表 小谷奈穂
氏
- 3.16 「時の響きコンサート・音とことばの展覧会」
(時の響き実行委員会と共催)
フルート:奥野英恵氏、ピアノ:澤田雅子氏
朗読:奥野桜子さん/長澤一花さん



あめつちの祭り Kaico 作品展示風景